

事務事業名		銀河連邦サンリクオオフナト共和国運営支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																																															
政策体系	政策名	07 相互に理解し、尊重し合う地域社会の実現		事業期間		予算科目																																															
	施策名	33 地域間交流の推進				会計	款	項	目																																												
	基本事業名	02 都市間交流の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみのみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 13 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度【計画期間】 ↓ 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	02	01	06	52																																											
根拠法令						事務事業区分																																															
所属	部課名	企画政策部企画調整課				A 政策事業 B 施設整備																																															
	課長名	新沼 徹				C 施設管理 D 補助金等																																															
	係名	地域交流係	電話	0192-27-3111		E 一般(A～D以外)																																															
	担当者	佐藤 章貴	電話内線	216																																																	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																																	
・銀河連邦は昭和62年、旧三陸町時代に宇宙航空研究開発機構の研究施設がある5つの市町が、ユーモアとパロディの精神で組織した連邦国家(平成22年に北海道大樹町、平成28年に宮城県角田市が加盟し、7市町で構成)で、共和国間の友好親善と相互発展、宇宙への夢とロマンを育むことを目的に各種交流事業を実施しており、その組織運営を支援するため補助金を交付していた。(平成25年度からは一般会計化され、補助金廃止。) ・業務としては、銀河連邦本部が主催する事業への参画、各共和国及び自国での事業開催に係る企画・運営・参画、また、銀河連邦全体の運営に関する会議への出席等となっている。 ・事業費の内訳としては、児童交流事業や経済交流事業への参加に係る旅費や物産展開催に対応した物産の購入、消耗品費等が主である。 ・平成25年度に銀河連邦サンリクオオフナト共和国及び大船渡市PRキャラクター「おおふなトン」がデビューした。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="2">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			都道府県支出金					地方債					その他					一般財源				事業費計 (A)		0	人件費		正規職員従事人数				延べ業務時間				人件費計 (B)		0			トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																																																		
			都道府県支出金																																																		
			地方債																																																		
			その他																																																		
			一般財源																																																		
		事業費計 (A)		0																																																	
人件費		正規職員従事人数																																																			
		延べ業務時間																																																			
		人件費計 (B)		0																																																	
		トータルコスト(A)+(B)		0																																																	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<b>前年度実績(前年度に行った主な活動)</b> 銀河連邦フォーラムへの参加や構成市町で開催される銀河連邦物産展等へ出展し、東日本大震災の風化防止、当市の観光・物産等のPRに努めたほか、当市夏まつりへの招待事業、第71回国民体育大会マラソン競技会への参加者受け入れ、子ども留学交流事業等を実施した。 また、「おおふなトン」の活動を通して、当市並びに銀河連邦のPRに努めた。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 事業計画件数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 事業計画件数	回	イ		ウ	
名称		単位							
ア 事業計画件数	回								
イ									
ウ									
<b>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</b> 当市夏まつりへの招待事業、第28回大船渡ポートサイドマラソンへの参加者受け入れ、銀河連邦交流30周年記念こどもワールドサミットへの参加のほか、銀河連邦交流30周年記念フォーラム、当市産業まつり物産展受け入れ、銀河連邦各市町が主催する物産展への出展等を実施する。									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 市の人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 市の人口	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 市の人口	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
各共和国間の交流促進を図る。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 交流事業数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 交流事業参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 交流事業数	件	シ 交流事業参加者数	人	ス	
名称	単位								
サ 交流事業数	件								
シ 交流事業参加者数	人								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
視野を広げ文化的・経済的活動に生かす。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	2,445	2,421	3,752	2,400	2,400	2,400	
		事業費計 (A)	千円	3,901	5,496	7,927	5,300	5,300	5,300	
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
		人件費計 (B)	千円	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	
⑤ 活動指標	ア	回	21	21						
	イ									
	ウ									
⑥ 対象指標	カ	人	38,167	37,633	37,379	37,125	36,871	36,600		
	キ									
	ク									
⑦ 成果指標	サ	件	20	17	17					
	シ	人	241	276	280	280	280	280		
	ス									

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
昭和62年11月、旧三陸町時代に、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究施設がある5つの市町がユーモアとパロディの精神で連邦国家を組織し、それぞれの共和国が手を取り合い、相互の理解と親善を深めることにより、宇宙平和の一翼を担うとともに、人々の笑顔あふれるユートピアの創造を目指してスタートしたもので、旧三陸町と当市との合併後は、サンリクオオブナト共和国として児童交流や経済交流を実施してきた。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
銀河連邦設立以来、各市町の首長を大統領とし、子ども留学交流や各市町の特産品を販売する物産展の相互開催等、各種事業を通して各市町間の親善を深めてきた。平成19年5月14日には各共和国経済協議会の代表者をもって構成する銀河連邦経済連絡協議会が設立され、民間活力を積極的に活用した経済交流事業を展開することとなった。銀河連邦経済連絡協議会の組織は、各共和国経済協議会代表者をもって構成することとされており、当市においても平成21年3月に銀河連邦サンリクオオブナト共和国経済協議会を設立し、さらなる経済交流の促進に取り組んできた。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
震災後は、大船渡市観光物産協会への事務局機能移管や物産展出展業務の委託に関する意見があるが、復興途上にある中、いずれも直ちに実施するのは困難な状況である。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 銀河連邦交流事業を通じて、銀河連邦各市町間で理解を深めながら、友好関係を築いてきたことから政策体系との整合は図られている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 銀河連邦というくくりの中でさまざまな事業を展開しているが、発端は行政間の交流事業であり、結果として関係7市町の交流促進が図られることから妥当といえる。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 銀河連邦交流事業の推進は、市がサンリクオオブナト共和国として行なうものであることから対象として適切である。また、事業の目的が銀河連邦各市町間の友好親善と相互発展であることから意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 経済交流を促進する中で、行政がパイプ役となり民対民の流通経路の開拓に取り組むことで、民間主導の経済交流が積極的に行われ成果の向上につながる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 銀河連邦交流事業の窓口を失うこととなり、都市間交流の推進が図られない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 経済交流事業等における民間との協働や民間主催などにより、事業費削減の余地がある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 経済交流事業等における民間との協働や民間主催などにより、事業費削減の余地がある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 子ども留学交流に参加する児童の交通費用や昼食費用等、個人が負担すべき経費は自己負担としている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																							
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 本年度で交流30周年をむかえる銀河連邦であるが、震災発生時からの相模原市をはじめとする銀河連邦構成市町の多大な支援により、市民の認知度は高まってきている。今後においては、経済交流における民間業者の積極的な事業参画を促し、さらに銀河連邦として全国へ向けて発信することで、交流人口の増加や地域の活性化が期待できる。																								

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	東日本大震災からの復旧・復興において、本事業をベースとして広範かつ多大な支援が開される等、銀河連邦交流の果たす役割、意義及び成果は非常に大きい。今後においては、交流の「拡大」はもとより、「深化」を強く意識しながら、持続的な交流への道筋を模索しなければならない。